

議員活動通信

日田市議会議員



なかしま章二

【連絡先】

電話・fax 0973-22-7102

携帯 090-8412-9143

住所：日田市港町 8-64

メール：shodaykota@ab.auone-net.jp



〔令和3年第2回
6月〕定例会〕

令和3年第2回(6月)定例会においては、条例の一部改正や令和3年度一般会計補正予算など、26件が提出され、慎重に審議し、閉会日の採決の結果、令和3年度一般会計補正予算案を修正可決し、その他の案は原案通り可決、採択、同意しました。

採択された請願2件「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書の提出を求める請願」「地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願」は、私たちの市民クラブからの提出で、全議員の賛同を得て全会一致で採択されました。

また、急激な新型コロナウイルス感染症の拡大を受けての緊急対策だけは、開会日に審議し、可決しました。

【6月議会一般質問と答弁】

日田市手話言語条例制定に向けて、取り組めます！

【質問】 合理的配慮として、手話言語や情報コミュニケーション等に関する条例制定の考えはあるのか

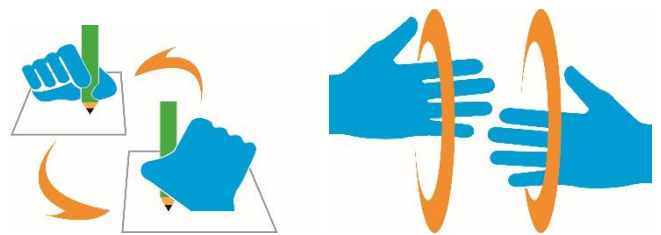
【福祉保健部長】 条例制定に向けて、関係団体と今後、協議を進めていく。

【質問】 手話言語条例制定に向けて市長の考えは？

【市長】 手話条例、こういうものがやっぱり必要だと思っている。絵に描いた餅のような条例をつくっても何もございません。しっかり実行力のある、そして持続可能な状況で今後続けていくことのできるものを知恵を出し合いながらつくっていければと考えとります。

【質問】 災害やコロナ禍における聴覚障がい者への対応について

【福祉保健部長】 平常時から文字表示付き防災ラジオや、ケーブルテレビの情報を文字で確認するよう、市役所窓口で伝えるとともに、発災時においては避難情報の伝達や安否確認をファックス等で行う。避難所などでのお知らせ等を大きな文字や絵で分かりやすく表示することを心がけ、聴覚障がい者や高齢者にも配慮している。



日田市自治基本条例に基づく市民が主役のまちづくり！

【質問】 多様化する地域課題やニーズの解決方法

【企画振興部長】 上中津江地域に設立している住民自治組織では、アンケート結果から見えてきた地域課題を解決するため、地域住民と市と一緒に住民の意思を尊重し、課題の共有・解決に向けた協議を続けながら組織運営を行っている。

【質問】 住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくり

【企画振興部長】 どの地域においても高齢化や人口減少、地域コミュニティの希薄化による地域課題も多様化していくことが予測されることから、住民と市が連携を図りながら市民一人ひとりが誇りをもって、安心して幸せに暮らすことのできる市民全体のまちづくりへの実現に向けて取り組む。

【質問】 上中津江の福祉施設移転統合について住民との協議は市民が主役のまちづくりに沿った進め方であったか

【市長】 基本的なまちづくりという意味だけではなく、対象者、受益者含めた住民の方々と協議を進めていくことは当然です。ただ、この上中の福祉施設の統合という事に関しては説明不足であったりという事がありながら、ここまで話が来たの





【6月議会一般質問と答弁】



切れ目・すき間のない多様な子育て支援について！

【質問】総合的な子ども支援拠点の方針

【市長】 複雑・多様化する子育て環境において、子どもの健やかな育ちを総合的に支援するための環境を整えることは、早急に取り組むべき重要な課題と考えている。このような課題に対し、児童福祉と母子保健などの市役所内部の関係部署、また、教育委員会が連携を図りつつ、一体的な子育て支援を行う拠点創設に向けて取り組みを進めている。

相談支援機能を中心に子育てに必要とされる支援を充実させる予定。

【質問】 放課後児童クラブ（福祉保健部）と放課後子ども教室（教育委員会）の連携について

【福祉保健部長】 放課後児童クラブ（福祉保健部）と教育委員会との連携は必要不可欠であると考えている。

【教育委次長】 連携をより一層深めていくという事で、放課後対策事業運営委員会を立ち上げ、その取り組みの中で、令和2年度からは一体型、連携型を含めてという両者の連携を円滑に図るということの調整役を担っていただく統括アドバイザーを設けている。

【質問】 第2期日田市子ども・子育て支援事業計画において課題としてとらえている事項と解決に向けた取り組み

【福祉保健部長】 支援を必要とする子どもや家庭は増加傾向にあり、その内容も複雑・多様化しており、より専門性の高い支援が求められている。この課題について一体的な子育て支援を行うための拠点として総合的な子ども支援拠点の創設に向けた取り組みをしており、相談窓口を一元化するなど、関係機関が連携することで厚みのある支援体制が整えられると考えている。

【質問】 教育委員会としての学校教育、母子保健、児童福祉の連携による子育て支援施策、多様な子育て支援についての考えかた

【教育長】 市教委主催では特別支援連携協議会を開催しており、医療、福祉、教育関係機関の皆様のご意見を聞きながら特別支援に関する事業を推進している。

今後とも、福祉保健部そして各関係機関と連携を深めながら、子育てに関し、幅広いサポート体制をとっていきたい

【「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願」】

2006年に国庫負担割合が3分の1に引き下げられた義務教育費について、大分県では厳しい財政状況の中、独自財源により、小学校1・2年生と中学校1年生の30人以下学級の定数措置が行われています。しかし、国の責務において

①義務教育は自治体間・地域間によって格差が生じないようにすること。

②国としての定数改善計画の策定と国庫負担に基づく財源の保障すること。

③全国どこに住んでいても、子どもたち一人ひとりへのきめ細やかな対応や学びの質を高めることのできる教育環境を実現すること。3つの項目について、国に対し意見書の提出を全会一致で採択されました。

4回連続の予算案減額！

【天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業減額修正】

【令和3年度補正予算（第2・3・4号）】

6月補正では、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大とコロナ禍が長期化する中で、子育て世帯生活支援特別給付（ひとり親世帯・その他世帯）事業、ワクチン接種体制の強化や、中小企業者等の賃料補助の拡充、感染防止対策強化を支援するほか、飲食店の営業時間短縮等の影響を受けた関連事業者支援やサテライトオフィス等の整備による地方創生の推進を図るほか、天ヶ瀬温泉街の復興プロジェクトに係る費用（詳細は下段）の追加を行うものです。

歳入歳出それぞれに、5億7834万1千円を追加し、補正後の予算総額を386億9019万8千円とするものです。

一般会計補正予算(第2・3・4号合計)の規模 (単位:千円)			
当初予算	現予算	今回補正	補正後予算
38,111,857	38,185,729	578,341	38,690,198
(参考:令和2年度6月補正後予算額 45,524,352千円)			

【今回補正の主な事業】

- (新)子育て世帯生活支援特別給付事業(その他世帯含む) 9533万9千円
- (新)感染症対策観光需要喚起事業 955万2千円
- (新)市域資源活用サテライトオフィス等整備事業 5651万1千円
- (継)生活困窮者自立支援事業 2674万1千円

この事業は、令和2年7月豪雨により大きな被害を受けた天ヶ瀬温泉街の復興を推進するために地域住民で構成する「天ヶ瀬温泉つなぐ会議」が企画したイベント等に対し支援するもので、3つの事業に対して総額1522万8千円の予算案が提出されました。

総務環境委員会では、「全額削除」と「一部減額」の2つの修正案が出されましたが、いずれも否決され、原案も否決されました。

本会議でも、「全額削除」と「一部減額」の修正案が出ました。3月議会で「(上)中津江福祉施設移転事業」は、市の説明不足や合意形成の進め方が悪く、修正案が出され、一部減額」という議決となりました。地元住民の混乱を現在も招いています。私は、原案に反対し、住民との協議をしっかりとした上での再提案を図るためにゼロベースに戻すよう意見

しましたが、一部減額という議決となりました。

今回も上中津江福祉施設移転整備事業と同じように、住民のために必要である事業だからこそ、市民・議会・行政が一緒になってまちづくりを基本に、行政の責任と役割が果たせていない。という考えから、この予算をゼロベースにし、改めて予算案を議会に提案するべきものと判断し、「全額減額」を本会議で提案しました。

これから始まる天ヶ瀬温泉街を含めた天瀬地区、そして被災された地域の、早期の復興を願い議員として活動していきます。



発行: 中島章二 日田市議会議員

〒877-0006 大分県日田市港町 8-64

携帯電話: 090-8412-9143

